



おねがい

新型コロナウイルス感染者が増加していきいます。
感染拡大防止の為、また安心して利用していただけるよう、
37.5℃以上の発熱、または発熱がなくても風邪症状が見られる場合は、お休みをお願いいたします。

面談についてのお知らせとお願い

2021年度の下半期も残すところわずかとなりました。
3月中旬から、随時面談を実施していきます。
担当職員から日程調整の相談をさせていただきます。なお、書面でのやり取りを希望される保護者の方につきましては、郵送や療育時にお子様を通してお渡ししますので、日程調整の相談の時にお知らせください。面談については、15分程度を目途に実施予定です。

次年度（4月）より、担当支援員が変更となる場合がありますので、その場合は個別にご報告させていただきます。

閉所日のお知らせ

2022年4月1日（金）～2022年4月2日（土）
新年度の準備の為、事業所は閉所となります。
従って、第1週目の運動療育がお休みとなりますので
よろしくをお願いいたします。

ブログのご紹介

1月・2月は、個別療育の様子を紹介しています。お子さんのその日の様子に合わせて、お勉強の内容や量を調整して、楽しく「できた」経験を積み重ねていけるよう取り組んでいますので、ぜひご覧ください！



<https://ameblo.jp/plusobihiro63/>

事業所での取り組み ～こんな時どうしたらいい？～

今回は、勝敗のある遊びで、負けたときの対応についてご紹介します！
成長とともに、勝敗のあるあそびの機会が増えますよね。すぐろくやウノなど、とても楽しいですよ。ただ楽しい反面、負けたときに、くやしい気持ちが行動で見られたり、強い口調になる…なんてこともあるのではないのでしょうか。

このような場面が予測される時には、事前の確認が有効です！
事前にルールの確認と負けたときはどうしたらよいか、相談して決めておきます。

子どもたちから、「負けても怒らない！」など自分で教えてくれることもありますよ。

でも分かっている、悔しい気持ちが行動で見られる時もありますよね、そんな時には、

負けたときの気持ちを大人が言葉に変換してあげることも大切です。
繰り返すことで「あ、これが悔しいっていう気持ちなんだ」と繋がっていきます。

支援員が負けた時にも、お手本となるように「負けちゃった、悔しい～！」など、悔しさを言葉で表出したり、「もう一回やってもいい？」と聞くなど、子どもたちのお手本となるよう関わっています。

お家でできる手指の運動

お菓子などのパッケージがなかなか自分で開けられず、「力が弱い？手の使い方が下手？」と感じたことはありませんか？

新聞紙などを「両手の指でつまむ+ひねる」ちぎり動作で上達する可能性があります！

最初は、楽しくビリビリちぎる。上手になってきたら、お父さんお母さんやご兄弟と、1枚の新聞紙をどちらが長くちぎれるかや、細くちぎれるか等競争しながら楽しくやってみてください！

また、チラシや画用紙等の厚みが異なるものでやってみると、紙に合わせた力加減の練習にもなりますよ★



2022年2月9日発行